

第23回 定期総会 2026年5月17日(日)

- ・ 群馬会場(メイン会場)
群馬 イノベーションハブホール
- ・ 東京会場(第二会場)
東京事業所 本館 D1会議室

今回はOB会としては初めての試みとして、群馬イノベーションハブホールをメイン会場として東京事業所 本館の会場とをWeb会議システムで繋ぐ二元開催としました。

群馬テストコース内・衝突試験場では大勢の方々が現場で実見させていただくと共に、群馬会場・東京会場では大型モニターに実況映像を投影しました。その両会場では各試験設備について会話が弾み盛り上がりました。



群馬 イノベーションハブ



大型モニター



東京事業所 本館



大型モニター



試験設備見学

Web会議システムで繋ぎ
実況中継

群馬会場は63名、東京会場では12名の会員の方々が参加しました。
(株)SUBARUからは岡本商品革新本部長、渡森技術本部副本部長、青木労働組合常任執行委員にご来賓としてご出席をいただき、総勢84名(※)が参加、盛大に行われました。



スケジュールの都合や、その他の事情で、群馬までの移動が難しい場合は東京会場で参加していただきました。
大型モニターでの映像と音声は概ね良好で、予想以上に群馬までの距離感は近いと感じられました。



大型
モニター



開催に当たり，今回も(株)SUBARUの多くの方々の
ご尽力をいただきました。ありがとうございました。
技術管理部 廣瀬課長（右）
健康支援センター 熊井保健師（左）



技術管理部 高橋様（左）
司会の酒井OB会幹事（右）



馬場会長

会長挨拶 …以下スピーチ内容抜粋

昨今の自動車業界は激動と混乱の真っ只中にあります。昨年以来トランプ関税に振り回され，加えて中東紛争による混乱は，皆様ご存じの通りです。

この様な中，昨年はフォレスターがカーオブザイヤー受賞という栄誉に輝き，本年4月には新型EVのトレールシーカーを発表されました。

昨年のOB会活動の概要に関して報告させていただきます。第1に会員相互の綿密な親睦を図る施策，第2に会社情報の共有化とコミュニケーションを図る施策，第3に会員増強と経費削減策等です。その施策としてOB会ホームページを本年3月10日に開設を致しました。

今年度の活動計画で最重要事案は昨年と同様OB会員の増員対策です。過去5年では年10名程度減少しており，このままではOB会の運営が大変難しくなると予想されます。技術本部・商品革新本部の皆様にご協力を頂き会員加入運動を進めたいと考えている所です。

現役の皆様との技術交流の機会を持つ計画は，技術管理部様と具体的に立案し実行したいと考えている所です。OB会員皆様の貴重な知見を現役の皆様にお話しして頂きたいと思っております。

最後に成りますが，本総会を持ちましてOB会会長の任を解かせて頂きます。後任に影井副会長を推薦いたします。

思い起こせば，2015年に第3代OB会会長に就任して以来，10年余りの長きに亘りOB会の皆様の親睦を図るため微力ながら務めてまいりましたが，これを機に新体制の下，OB会発展のために新しい風を吹き込んでいただき，技術開発部門OB会の伝統と誇りあるスバル文化を引き継いで頂きたいお願い申し上げます。

会社の現状と今後についてご説明いただきました。



岡本商品革新本部長



渡森技術本部副本部長



青山労働組合常任執行委員

米寿(88歳)・喜寿(77歳)のお祝い
おめでとうございます



お祝い記念品
(スバル 360 透視図をクリスタルガラスの
内部に 3D レーザー加工で彫刻)



米寿お祝い (東京会場)



米寿お祝い (群馬会場)



米寿お祝い (群馬会場)



喜寿お祝い (群馬会場)



喜寿お祝い (東京会場)



喜寿お祝い (群馬会場)



喜寿お祝い (群馬会場)



喜寿お祝い (東京会場)

ご都合により、総会にご出席できなかった方々へは
別途お送りいたしました。

米寿・喜寿を迎えられましたこと心よりお慶び申し
上げます。
これからもOB会の発展のため、ご指導の程よろしく
お願い致します。

前回第22回定期総会2025年5月18日から
今回2026年5月17日までの間、
12名の方々がお亡くなりになりました。

お亡くなりになりました方々のご冥福を
お祈りし、黙とう



議案審議 議長：影井副会長，議案提案：坂本幹事



全議案について，全会一致で可決しました。
会長の交代を含む，役員の新体制は次のとおり選出されました。

役 職	氏 名		備考	選出方法
会 長	影井 康夫	カグイ ヤスオ	新任	総会
副会長	岡田 均	オカダ ヒロシ	新任	
幹 事	木暮 敏道	キグレ トシミチ	－	
	坂本 透	サカモト トオル	－	
	両角 卓郎	モウカク タクロウ	新任	
会 計	大竹 高明	オオタケ タカアキ	－	
会計監査	久保田 昌治	クボタ マサル	－	
	宮島 昭宏	ミヤジマ アキヒロ	－	
顧 問	馬場 泰一	ババ ヤスヒサ	会長要請による	

企画委員は次のとおりです。

役 職	氏 名		出身所属	選出方法
委員長	大竹 実	オオタケ ミル	設計	会長推薦
副委員長	永沢 浩	ナガサキ ヒロシ	研究所	
	福田 立	フクダ タツル	設計	
書記	山田 晃一	ヤマダ コウイチ	研実	
	黒田 宏彦	クロダ ヒロヒコ	管理	
	松本 伸	マツモト シン	設計	
委員	新井 猛	アライ タツシ	研実	
	前澤 光彦	マエザワ ヒロヒコ	デザイン	
	上村 勝美	カミムラ カツヨシ	研究所	
	古郡 猛男	フルコリ マサオ	試作	
	小林 知也	コバヤシ トモヤ	設計	
	天竺 孝之	アマガサ タカシ	研実	
	島田 英男	シマダ ヒデアキ	設計	
	天竺 義則	アマガサ ヨシノリ	設計	

(株)SUBARU技術開発部門OB会
新会長挨拶



影井会長

その他の報告事項



- ・「思い出の記」第21集の内容紹介 木暮幹事
- ・金山ハイキング実施のご案内 古郡書記
- ・OB会ホームページの紹介 大竹会計



昼食風景（東京会場）



東京会場の参加人数は少ないけれど、何やら楽しそうです。



群馬会場 イノベーションハブ西側玄関前で記念撮影



東京会場 本館1階ロビー A5^(※)の周りで記念撮影

※ A5 スバル1000開発前に製作された試作車。

FWD, 980cc 空冷水平対向4気筒, モノコックボディ

特別講演

自動車が生誕して250年以上が経つ今もなお、交通事故は世界的な問題である。

SUBARU車ドライバーの事故要因について調査・分析し対応策を検討した。交通事故に関する若年層への安全意識の醸成は喫緊の課題であり、重点的な対応が求められる。SUBARUは車両技術の進化と教育・啓蒙活動の両面から安全な交通社会の実現に向け取り組みを推進していく。(SUBARU技報 2025 No.52 P133から抜粋)



「2030年 死亡交通事故ゼロへの開発状況について」
技術本部 車両安全開発部 宮田部長



「衝突安全 20年の変化」
技術本部 車両安全開発部 中瀬課長

衝突試験場見学

JNCAP(自動車アセスメント)の新オフセット前面衝突試験では、従来の乗員保護だけでなく、衝突した相手の車両へのダメージをどう減らすかという評価が重視され、変形可能なムービングバリアと試験車両の双方50km/hで衝突(相対速度100km/h!)させ、互いの被害を最小限に抑える設計が評価基準とされるとのことです。

その他を含めて、現実に近い事故を再現するため、試験条件は進化、評価基準の高度化・多様化が進んでいます。



THOR(Test Device for Human Occupant Restraint) 前面衝突用ダミー

従来のハイブリッドⅢに比べ、頭部と首の動きを忠実に再現する等、より人間に近づけて開発された前面衝突試験用ダミー。加速度センサや角速度センサを多用、前面だけでなく、側面や斜め衝突にも対応可能。1体で数億円するのだそうです。



衝突試験済み車両や、新型フォレスター、新型トレイルシーカーも展示していただきました。皆様、準備は大変だったかと思います。ありがとうございました。